

(様式 2)

「秋田大学学生海外短期研修支援事業」実施報告書 (参加学生)

平成 26 年 9 月 29 日

所属：工学資源学部地球資源学科

学部 4 年次

氏名：阿部 拓郎

研修先大学・機関名等 (国)： APEX MINING COMPANY (フィリピン)

在籍身分：学生

渡航年月日： 2014 年 8 月 5 日

帰国年月日： 2014 年 8 月 19 日

○研修先での学習内容等

8 月 7 日から鉱山の調査を開始。同じ研究室の学生と調査を続けた。鉱山地域の斑岩銅鉱床を主に観察を行ない、新鮮な岩石のサンプルを採取した。調査地域が規制地域ということもあり、限られた少ない時間の中で調査を行った。調査最終日はボーリング観察を行った。

○研修期間の生活面について

毎日朝の 6 時半、12 時、18 時に朝食、昼食、夕食を食べ、基本的に野菜は少なかった。調査は午前中に行い、午後は宿舎でデータ整理に時間を費やした。自由時間は多かったが、宿舎の周りは木々が生い茂っていてお店なども少なく宿舎にいる時間が多かった。朝 6 時に起床して、夜の 11 時には就寝していた。

○研修期間全般にわたる感想

今回、人生で初めて海外に行くことができるとてもいい経験になったと思います。普段の生活と大きく違って言葉が上手く通じることができなく、身振り手振りでのコミュニケーションがとても多かったですが、その国の歴史的な文化などに触れることができ、調査をすること以外にもとても大きなものを得ることができたと思います。現在の世界の中で英語という言語は大事なものと再確認することができました。

○今後の勉学計画

採取したサンプルから薄片などを作成し、顕微鏡観察や XRD 分析を行い様々なデータを得て、調査した地域の構造や成因を明らかにする。

(様式2)



調査中の警護で同行した警備員と